

## (7/30) 第36回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMCの設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、各種課題のより深い理解、新しい知見・情報取得と併せ、新規研究テーマ探索も考慮した特別シンポジウムを開催しております。

今回のオンライン特別シンポジウムでは、藤原先生のESDシリーズ(II)として「ESD試験器の気中放電と影響因子の複合効果 ～接近速度が火花に及ぼす意外な影響～」と題する講演です。先生はESD分野の世界的に著名な研究者であり、長年にわたって多くの研究成果を発表されています。今回は、ESD試験規格の気中放電法における問題点に関して解説していただきます。ご関心のある皆様、奮ってご参加ください。

### 【7/30(金)開催】ギガビット研究会 第36回特別シンポジウム

#### 「ESD試験器の気中放電と影響因子の複合効果 ～接近速度が火花に及ぼす意外な影響～」

**日時** 2021年7月30日(金) 13:30～15:00

**方式** Zoomによるオンライン開催

#### プログラム

13:30～13:35	開会挨拶
13:35～14:55 (質疑含む)	『ESD試験器の気中放電と影響因子の複合効果 ～接近速度が火花に及ぼす意外な影響～』 名古屋工業大学 名誉教授 / 電気通信大学 客員教授 藤原 修 先生  ESD試験規格の気中放電は、現実のESDを反映するとしてイミュニティ試験に適用されるも、試験電圧、試験器の接近速度、環境の温湿度などに大きく影響され、試験結果が安定しない。再現性向上には、試験器の低速接近か多湿度環境下での試験が有効とされるが、機構は不明だ。 本講演では、試験電圧、接近速度、温湿度を変えた試験条件での気中放電に対する放電特性と、接近速度が温湿度に対して火花長に及ぼす意外な複合効果を紹介し、試験規格のあるべき姿を考えたい。
14:55～15:00	閉会挨拶

**参加費** 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は28,600円(税込31,460円)

**お申込み** メールで、ギガビット研究会 [gigabit@sangaku.uec.ac.jp](mailto:gigabit@sangaku.uec.ac.jp) までご連絡ください。  
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

**お申込み締切** 2021年7月27日(火)

#### <法人会員>

1. 法人名（会社名）
  2. 所属
  3. 氏名
  4. Zoomの登録名
  5. メールアドレス
- 以上5点をご連絡ください。

#### <特別会員および研究室所属学生>

1. 氏名（学生の場合は、学生氏名と括弧書きの特別会員氏名）
  2. Zoomの登録名
  3. メールアドレス
- 以上3点をご連絡ください。

#### <法人准会員>

1. 法人名（会社名）
2. 所属
3. 氏名
4. Zoomの登録名
5. メールアドレス

以上5点をご連絡後、お手数ですが、参加申込書に必要事項を記入・捺印のうえご郵送（もしくはメール送信）をお願い致します。

#### お問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会事務局

TEL : 042-443-5848 e-mail : [gigabit@sangaku.uec.ac.jp](mailto:gigabit@sangaku.uec.ac.jp)